

ギンネム

か めい
科名 マメ

べつ めい
別名 ギンゴウカン

がく めい
学名 *Leucaena leucocephala*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 おきなわ おがさわら せいかいかくち ねったいあねったい
沖縄、小笠原、世界各地の熱帯亜熱帯に
帰化

は かたち
葉 の 形 ちょうらんけい
長卵形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい
葉 の 種 類 ぐうすうじょうふくよう
偶数羽状複葉

は つきかた
葉 の 付 方 ごせい
互生

は き ぶ
葉 の 基 部 えんけい
円形

み しゅるい
実 の 種 類 とうか
豆果

は な がくいろ
花 ・ 萼 色 しろいろ
白色

せつ 説 南 アフリカ原産の小高木で、高さ 8m 程度まで成長します。葉は偶数羽状複葉、小葉は
めい 明 対生し長卵形で葉先は鋭形です。花は頭状花序で年中開花し白色で見た目はかわいい感
じがします。一つの房に 10 個前後の種が入っています。日本には明治時代に飼料用、緑化用
として持ち込まれましたが、繁殖力は旺盛で「世界の侵略的外来種ワースト 100」に指定
されています。